

市民公開シンポジウム 「生活用品中のパラベン類による アレルギー性疾患発症に関する総合的研究」

座長：中村裕之先生（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授）

1. 福富友馬先生（国立病院機構相模原病院臨床研究センター診断・治療薬開発研究室 室長）

「パラベン類等の抗菌性化学物質とアレルギー疾患の関係：研究の背景」

2. 弘田量二先生（高知大学教育研究部医療学系連携医学部門環境医学 講師）

「アレルゲンを感作したモデルマウスにおいて、トリクロサンや
パラベンを暴露するとアレルギー反応が増強されるのだろうか？」

3. 中村剛先生（新日本科学営業統括部兼薬物代謝分析センター）

「尿中パラベン、トリクロサン濃度測定とその妥当性の検証に関する研究」

4. 大矢幸弘先生、山本貴和子先生（国立成育医療研究センターアレルギー科・エコチル調査
メディカルサポートセンター）

「小児におけるパラベン類とアレルギーに関する病院疫学研究」

5. 中村裕之先生（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授）

「パラベン類使用とアレルギー性疾患の関係に関する成人の疫学」



パラベン類は、シャンプー、石鹸、化粧品などの生活用品に防腐剤として添加されています。同様の抗菌剤として添加されてきたトリクロサンはアレルギーとの関連が確実視されてきており、パラベン類にもアレルギー作用が認められる可能性があります。本シンポジウムでは、パラベン類のアレルギーへの影響に関して総合的に研究した環境省の「環境研究総合推進費【5-1654】」研究グループの成果を発表します。

日時

平成30年

3月22日（木） 15:30-17:20

会場

東京工科大学蒲田キャンパス
第1会場（地下1階）

東京都大田区西蒲田5-23-22

JR蒲田駅西口より徒歩2分（地図：<http://www.jsh88.umin.ne.jp/open.html>）



参加申込は第88回日本衛生学会学術総会のホームページ（市民公開講座：<http://www.jsh88.umin.ne.jp/open.html>）で受け付けます。お申込みいただくと自動返信メールが送付されますので、プリントアウトして当日ご持参ください。参加証と引き換えます。事前参加申込のみとさせていただきます。

参加費
無料

定員
300名
先着順

申込締切
3月6日
（火）

主催 一般社団法人日本衛生学会

問い合わせ先（参加申込について）

東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階

株式会社プロコムインターナショナル

Tel: 03-5520-8821 Fax: 03-5520-8820

e-mail: jsh@procomu.jp

問い合わせ先（シンポジウムについて）

石川県金沢市宝町13-1 金沢大学医薬保健研究域医学系

環境生態医学・公衆衛生学教室内 市民公開シンポジウム事務局

神林康弘

Tel: 076-265-2218 Fax: 076-234-4233

e-mail: ykamba@med.kanazawa-u.ac.jp